

禁煙は今日からスタート!

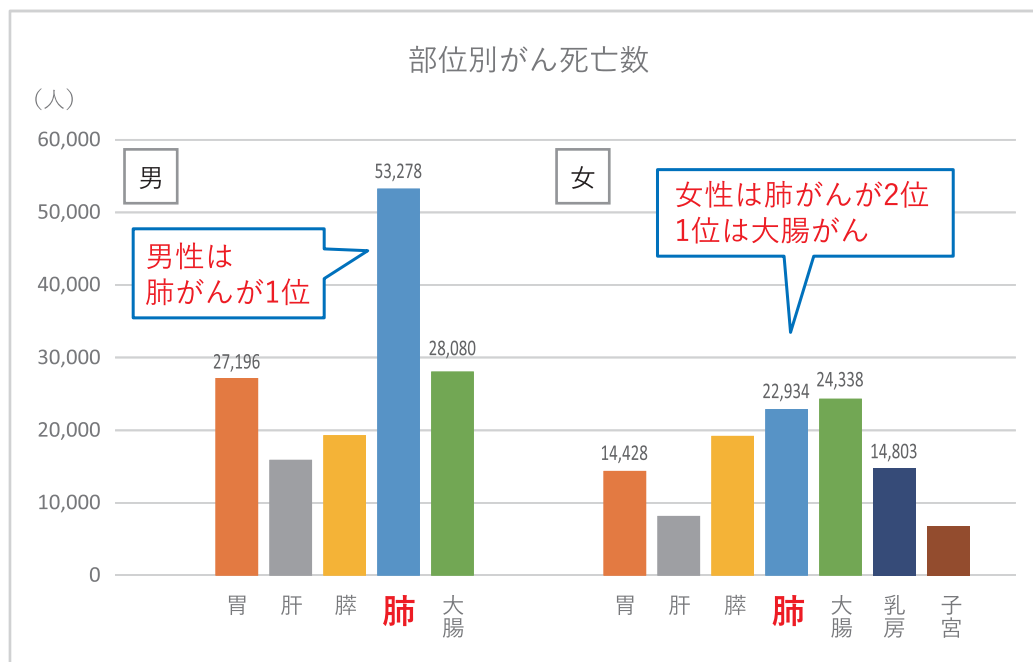
- ★ニコチンパッチやニコチンガムなど禁煙補助薬を使った禁煙プログラムがあります。
- ★禁煙日記をつけたり、誰かと一緒に取り組んだりすると継続しやすいです。
- ★禁煙は禁煙外来など専門家と共に取り組むことも成功への近道です。
- ★禁煙後5～9年で、現在吸っている人と比べて明らかにリスクが低下することが分かっています。

たばこの害

- ★たばこは肺がんをはじめ食道がん、膵臓がん、胃がん、乳がんなど多くのがんの危険性が高まると言われています。そのほかに動脈硬化、狭心症、心筋梗塞などの病気をおこす原因となります。
- ★たばこは吸う本人以外に、空気中に漂う有害なタバコの煙を吸い込むことで周囲の人の健康を損ねます。
- ★加熱式たばこ：どのような健康被害があるかは、まだ研究段階です。しかし、主流煙にはニコチンや発がん性物質などの有害物質が含まれていることは明らかになっています。

肺がんはがん死亡原因の上位です

精密検査は必ず受けましょう



資料：厚生労働省 人口動態統計 2021

◇がん検診にはメリットとデメリットがあります

メリット (利益)

- 1 早期発見・早期治療により命を守る (がん死亡の減少)
⇒ ・体にやさしい ・治る確率が高い ・治療費が軽減
- 2 検診で「異常なし」と確認ができ安心

デメリット (不利益)

- 1 検診ですべての肺がんが見つかるわけではありません (偽陰性)
⇒ 画像等の検査で見つけにくい形や場所に発生する場合や進行の速いがん
- 2 がんがなくても、検診の結果が「精密検査」となる場合があります (偽陽性)

◇精密検査の結果はがん検診の質を保つ精度管理 (検診の評価) に活用されます

精密検査の結果は、検診の精度向上のため、医療機関と情報連携します。また、その結果は実施主体 (市町村や事業所) と共有します。

(これは個人情報保護法の第三者提供の制限の例外事項として認められています。)

これらのことをご理解のうえ、検診をお受けください。



肺がん検診

●検診方法

◆胸部X線検査

- 対象者 40歳以上の方
- Tシャツ（無地）や薄い肌着1枚で検査をおこないます

◆喀痰細胞診検査

- 対象者 50歳以上で喫煙指数（1日の喫煙本数×喫煙年数）600以上の方
例えば1日の喫煙本数20本×喫煙年数30年＝喫煙指数600 と計算します
- 3日間の痰を容器に入れて提出します

●検診のながれ

胸部X線検査 喀痰細胞診検査

検診結果は後日届きます

異常あり

異常なし

精密検査

- がんの疑いがある場合は精密検査が必要になります。
- がんがなくても他の肺の病気が見つかることがあります。

胸部CT検査：肺の内部を輪切りの状態で撮影します



気管支内視鏡検査

鼻や口から挿入して気管支の中を観察、組織や細胞を採取して調べることが出来ます

がん

良性病変

異常なし

次回の検診

治療

主治医の指示に従ってください

肺がん検診 よくある質問

Q1 昨年検診を受けて異常なしでした。毎年受診する必要がありますか？

A1 がん細胞は日々変化しています。症状がないうちに発見することが重要ですので、毎年受けることをお勧めします。
血痰など自覚症状のある場合は、医療機関を受診しましょう。

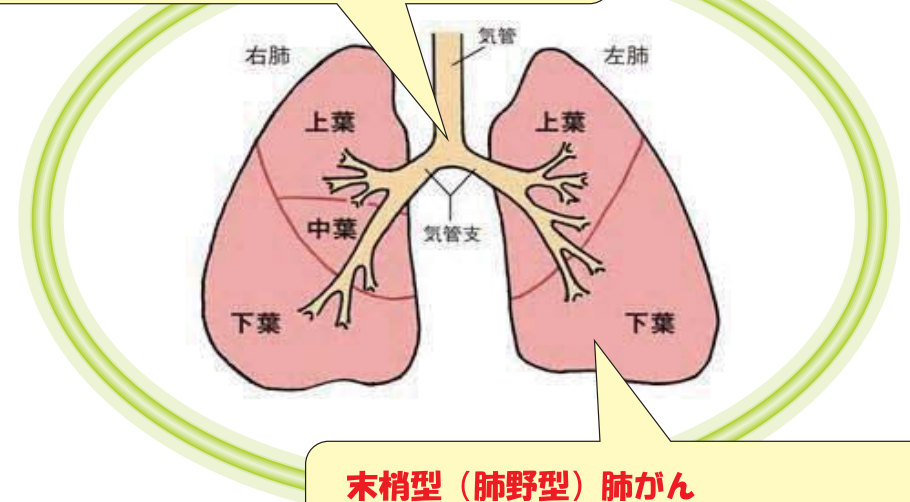
Q2 喀痰細胞診を受けた結果、精密検査の通知が届きました。どのような検査を受けるといいのですか？

A2 気管支内視鏡検査が必要と思われます。
詳しくは医療機関（呼吸器科）にご相談ください。
再度、喀痰細胞診検査を受けることは避けましょう。

発生部位

中心型（肺門型）肺がん

肺の中心部の気管支に発生 タバコと関係が深い
必要な検診：胸部X線検査と喀痰細胞診検査



末梢型（肺野型）肺がん

肺の末梢に発生 タバコとの関係は比較的薄い
必要な検診：胸部X線検査